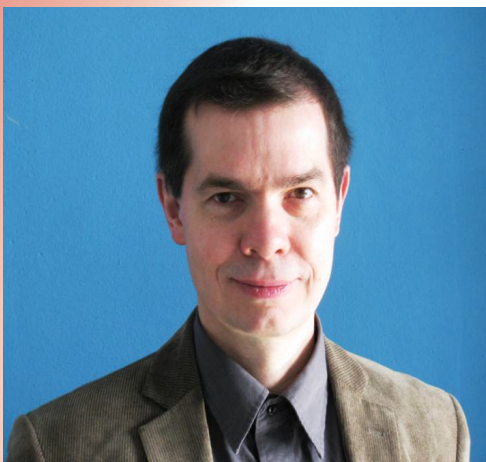


2015年度 ジェンダーセンター 第1回定例研究会

Meiji University Infocom Gender Center  
Seminar Series #1

# 日本における子どもと子ども像の歴史 江戸時代を中心として

ミヒャエル・キンスキー教授（ゲーテ大学）



ミヒャエル・キンスキー教授はドイツのゲーテ大学フランクフルト・アム・マインの日本学にて、日本文化史・日本思想史を担当する。本講演でキンスキー教授はエリック・エリクソン、フィリップ・アリエスの研究を踏まえ、近世期の子どもと子ども期についてのイメージについて、多くの資料をもとに描き出すことを目指す。アリエスに代表される「子どもの誕生」という視点は、江戸時代の日本社会、特にその親密圏をどのように描き出すのか、当時のジェンダー編成を知るうえでも大変興味深い。

**2015年4月22日（水）**

**18：00～（17：30開場）**

**明治大学駿河台キャンパス**

**グローバルフロント1F**

**グローバルホール**

●コメンテーター：出口剛司（東京大学准教授）

※講演、質疑応答とも日本語で行います。

申込不要・入場無料。詳細は当センターHPをご覧ください。

<http://www.meiji.ac.jp/infocom/gender/>

明治大学情報コミュニケーション学部ジェンダーセンター主催

後援：明治大学国際連携機構